

## グループバリデーションについての報告

現在、グループホームベタにあでは、3カ月を1セッションとしてグループバリデーションを実施中です。この度、5月～7月での取り組み・結果について報告いたします。

### バリデーションとは？

⇒認知症高齢者への共感・傾聴技法

BPSD(不安や徘徊、暴言暴力、抑うつなど)の改善にも繋がると言われています。

→当施設では、グループバリデーションに取り組んでいます。

### 実施内容

**期間**：令和元年5月～6月

7月 モニタリング実施

**参加入居者**：男性1名、女性2名

**役割**：Aさん(男性)…議長(挨拶)

Bさん(女性)…接待係(ティータイムでの配膳下膳)、歌のリーダー(歌い始めの合図)

Cさん(女性)…アクティビティリーダー(おじゃみ回しスタートの合図)



## モニタリング(振り返り)内容

	今まで	変化・結果
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常での入居者同士のやり取りや会話は少なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常での入居者同士の挨拶や会話が増えた様である。</li> <li>参加者全員がそれぞれの役割を果たされていた。</li> </ul>
職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>初め：アクティビティリーダー(難聴)に対し、実施中、どのように関わっていけば良いか迷いが大きかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>徐々に、職員自体がグループバリデーションに慣れてきたことで、関わり方が分かり始めた。</li> </ul>
気づき		
<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者のことを知る⇒ケアが変わる⇒入居者も変わっていく</li> <li>席の配置など⇒参加者の集中力が変化する。</li> <li>実施中、参加者同士の会話は少なかった。</li> <li>難聴の方への気遣いが必要</li> <li>難聴の方への声掛けの増加⇒他参加者が置いてけぼりになる。</li> </ul>		

**家族の反応**：「手紙見て母がとても喜んでたんです。人見知りだから、仕事してた頃とかも、人前で挨拶とかすることもなかったんですよ。ここにいたら違うんですかね。」

**今後**：

- 参加メンバーを変えながら継続し、入居者それぞれに適した役割、対応を検討予定
- グループバリデーションの時間以外での参加者の様子の変化に注目する